

全拉致被害者の即時一括帰国 を求める国民大集会

岸田文雄首相は、前回5月27日土曜日午後の国民大集会の場で、「現在の状況が長引けば長引くほど、日朝が新しい関係を築こうとしても、その実現は困難なものになってしまいかねません。一瞬たりとも無駄にせず、今こそ大胆に現状を変えていかなければなりません」、「日朝間の懸案を解決し、両者が共に新しい時代を切り開いていくという観点からの私の決意を、あらゆる機会を逃さず金正恩委員長に伝え続けるとともに、首脳会談を早期に実現すべく、私直轄のハイレベルで協議を行っていきたいと考えております」とかなり踏み込んだ発言をしました。

すると日曜日ははさんだ5月29日月曜日の午前中に北朝鮮は、両国首脳が「会えない理由はない」という外務次官談話を出しました。岸田総理の挨拶に対し、初めて肯定的な反応が出たのです。何らかのコミュニケーションがこの時点で取れていたのです。

その後、表向きは日朝間の動きが見えませんが、秘密接触が続いている可能性が高いと思われます。金正恩委員長はロシアを訪問しプーチン大統領と会談しましたが、砲弾や軍服などを輸出してその代金の代わりに石油などをもらう取引が進んでいるだけで、大規模な人道支援は実現していません。

北朝鮮ではこの秋の収穫も不作であり、米とトウモロコシの値段が高騰しています。そのため現在でも食糧不足による餓死者が多数出続けています。従って、日朝首脳が会って、拉致問題を核・ミサイル問題と切り離して、食糧・肥料などの支援と全拉致被害者の一括帰国という二つの人道問題を同時に解決できる状況に変化はありません。金正恩委員長は日本との交渉への意欲を高めているという情報もあります。

そのような中、私たちは今年2回目の「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」を開催します。出席を要請している岸田首相がその場でどのような挨拶をするか、北朝鮮は注視しているはずで

この国民大集会で声を合わせて、親の世代が被害者と抱き合うことなしには日本の怒りは解けず、経済支援も人道支援もあり得ないことを、北朝鮮の最高指導者に伝えましょう。救出のシンボルのブルーリボンバッジをつけて、ぜひ皆さん国民大集会にお集まりください。

警備の都合上、大きな荷物、長い棒、団体の旗、スピーカーは持ち込まないでください。
特定団体の制服での参加もご遠慮ください。

令和5年11月26日(日)

午後2時～4時 シェーンバッハ・サボー



と き 令和5年11月26日(日) 午後2時から4時まで

開 場 午後1時(先着順)

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サボー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL: 03-3261-8386

地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口徒歩1分

5番出口(都道府県会館前)はエレベーターあり

赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)が永田町駅に接続

登壇者 岸田文雄内閣総理大臣(要請中)、

松野博一官房長官・拉致問題担当大臣(要請中)、

家族会・救う会代表、拉致議連代表、知事の会代表、地方議連代表、
各党代表、特定失踪者家族会代表

参加費 無料(会場カンパ歓迎)

前回国民大集会（5/27）での挨拶から

◆全部親の元に取り戻してあげたい

横田早紀江（横田めぐみさん母）

皆様、こんにちは。本当に長い戦いになり、私たちも高齢化し、色々と身体に故障がでできます。私も2か月程前から調子がよくなくて、病院に治療に行っています。

この問題のために国民の心が一つになってほしいと思います。自分たちは、あんなことが起きているのにこれまで何をしてきたのだろうかと思ひながら、たくさんの方が支えになって運動が続いてまいりました。

こんなにかかるとは思っていませんでしたが、一人、二人、三人と何人もの人が今日も辛い思いをしているのかなと思うのですが、あちらの国のことは想像がつかないんですね。

日本の平和な日々の中で、力が抜けていくような思いをしました。必ずその国から全部親の元に取り戻してあげたい。それだけを念じて、祈って、今日までまいりました。

多くの皆様のご支援を頂いて、今日また、ふらふらしながら壇上からお話しさせていただく機会をいただいて嬉しく思います。どうしたらいいのかということは難しいことですが、総理があの方と対面し、目を見て話す日が早くきたいなと思います。どうしたらそういう日が来るのかと、いつも願っています。

大変なお仕事だと思いますが、どうか国のために、このことがなおざりにされてはいけませんので、必ず助け出すよう頑張ってくださいと思っています。どうか皆様、これからもよろしくお願ひします。ありがとうございます。

◆どうしても日本の地で再会させたい

横田拓也（横田めぐみさん弟、家族会代表）

主権国家から無実の少女を「一方的な力による現状変更」で拉致した加害者北朝鮮を許す事は絶対にできません。譲歩する気もありません。制裁を緩めることも考えていません。一方、拉致された私たちの愛する子どもや兄弟を待つ親世代の高齢化は厳しい現実下であり、再会を果たせず世界されるケースが相次いでいます。残されている時間が無いのです。

どうしても日本の地で再会させたい。大切な我が子や家族と抱き合わせてあげたい。その強い思いから、人道問題である拉致問題の解決を前進させるために、全拉致被害者即時一括帰国が約束されるのであれば日本政府が北朝鮮へ人道支援する事に私たちは反対しないという運動方針を作りました。

この運動方針の考え方、背景にある私たちの心の内の苦しみを今回の訪米活動において政府高官及び上下両院議員、そして有識者の方々に伝えて参りました。一人の方からもこの私たちの運動方針や考え方に反対や異論の声は上がりませんでした。この点において、訪米活動は実りある成果を得られたと考えています。

金正恩委員長に再度伝えます。拉致被害者が晴れて日本に帰国した際に、私たちは拉致被害者本人が見聞きした内容を聞き出し、日朝国交正常化交渉の妨げをすることはしないことを改めて伝えます。怖がらずに勇気ある英断をして下さい。私たちは拉致された被害者をただ帰してほしいだけです。

金正恩委員長、あなたの横に座るあなたの娘さんの映像を私たちが目にする時、あなたも親として愛する子どもが大切であるとの気持ちを持っていることを私たちは感じ取っています。その同じ気持ちを私たち拉致被害者家族の親世代の方々も持っていることを忘れないでほしい。

岸田首相に全拉致被害者の即時一括帰国の実現を求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1内閣総理大臣 岸田文雄殿
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

11/26 国民大集会

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 横田拓也）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 古屋圭司）
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 黒岩祐治）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905
電話03-3946-5780 FAX03-3946-5784 担当＝平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」／ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒタリウカウ）